

一般社団法人日本音楽療法学会 中国支部
第22回支部大会・第28回講習会 <広島大会>

♪ 第1次案内 ♪

期 日 : 2024年5月25日(土)・26日(日)

会 場 : 広島大学霞キャンパス広仁会館
〒734-8551 広島市南区霞1丁目2番3号

大会準備室 : 日本音楽療法学会中国支部第22回大会準備室 (担当: 登島)
E-mail: cyuugokusibutai2024@gmail.com

主 催 : 一般社団法人日本音楽療法学会 中国支部

ごあいさつ

第22回日本音楽療法学会中国支部大会
大会長 野路 恵美

第22回日本音楽療法学会中国支部大会並びに第28回中国支部講習会を、5月に広島市で開催することとなりましたのでご案内いたします。

今回の大会テーマは「音楽療法における関わりを再考する～あなたとわたしの観点から～」といたしました。これは、セラピストとクライアントの関係性において、支援を必要とされている方々との関わりを再び考え直す機会になればと企画いたしました。

基調講演では、『強みを知り・強みを活かす！クライアントとの新たなかかわりを探求する～ストレングスモデルに着目して～』と題して小沼聖治先生に、そして教育講演では、『ACP×音楽療法』について西川満則先生と大城京子先生にご講義いただきます。

いずれも、「あなたとわたし」といったありようについて理解を深めていけたらと考えております。

また本大会を開催するにあたり、音楽療法を専門的に学んだ人だけでなく、福祉、教育、医療など様々な分野の人にもっと音楽療法を広めたいという思いから、一般参加もできるようにいたしました。

皆さまのご参加心よりお待ちしております。

プログラム

5月25日(土) 講習会・茶話会(会員の方のみ)

10:00~11:00 受付

11:00~12:30 第1講 『回想法の実践 ~回想法と音楽療法~』

講師: 宮本 典子先生

12:30~13:20 休憩(昼食)

13:20~14:50 第2講

15:00~16:30 第3講

『地域の中で音楽療法士ができること』

※ディスカッション・ワーク含む

講師: 小柳 玲子先生

16:45~17:35 茶話会

5月26日(日) 支部大会 大会テーマ『音楽療法における関わりを再考する ~あなたとわたしの観点から~』

9:00~9:30 受付

9:30~9:40 開会式

9:40~11:10 基調講演

「基調講演」「教育講演」: 会員の方・一般の方参加可能

『強みを知り・強みを活かす! クライアントとの新たなかかわりを探求する
~ストレングスモデルに着目して~』

講師: 小沼 聖治先生

11:20~12:50 教育講演 <共同講演>

『ACP×音楽療法』

講師: 西川 満則先生

大城 京子先生

12:50~13:50 休憩(昼食)

13:50~14:20 支部総会

14:30~16:10 研究発表(会員の方のみ)

16:10~16:15 閉会式

第1講 11:00~12:30 『回想法の実践 ～回想法と音楽療法～』

宮本 典子先生

(臨床心理士 公認心理師)

回想法は、「高齢者が行う人生回顧（ライフレビュー）に敬意と積極的関心を持って耳を傾けること」を基本にアメリカの精神科医ロバートバトラーが抑うつ状態の治療法として提唱した心理療法の技術です。抑うつ状態の改善だけでなく、自尊心の回復、アイデンティティの強化、未解決の葛藤の和解などの効果もあると言われています。日本では、認知症の記憶の障害の特徴をいかし、認知症の人への心理療法、アクティビティとして広く展開されています。筆者は、認知症高齢者及びその家族への心理サポートを主たる目的に、回想法と音楽療法を組み合わせたグループ心理療法を音楽療法士と共に18年間実施してきました（2019年2月終了）プログラムの実践内容を通し、回想法と音楽療法を組み合わせることで生まれる効果や可能性についてお話をしたいと思います。

【プロフィール】

宮本典子

臨床心理士、公認心理師

青梅慶友病院を母体とする慶成会老年学研究所（1998年開設2019年3月閉所）に20年在籍。

その間、主に青梅慶友病院、及び関連クリニック新宿1丁目クリニック、研究所に置いて高齢者・介護者家族等への心理療法、カウンセリング、回想法グループ、心理検査等の臨床活動に従事する。

2019年3月、慶成会老年学研究所閉所に伴い個人での活動を開始し、これまでの活動に加え、企業や教育現場でのカウンセリング、ピラティススタジオでのカウンセリングなど、多世代に向けてWell beingを目的としたメンタルケア、ストレスケア等に関する活動も展開している。

著書：

認知症と診断されたあなたへ 医学書院 共著

いちばん未来のアイデアブック 木楽舎 編著

認知症の緩和ケア 南山堂 共著

第2講 13:20~14:50
第3講 15:00~16:30

『地域の中で音楽療法士ができること』

小柳 玲子先生

(音楽スペースおとむすび主宰 昭和音楽大学講師)

団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年を見据えて、地域包括ケアシステムに代表される「病気や障がいがあって住み慣れた地域で生活できる」ための支援体制づくりが進められてきています。同時に、住民が相互に尊重しあい支えあう地域共生社会の実現が急務とも言われています。このように「地域」がキーワードとなる昨今の社会の動きを見ると、音楽療法士の専門性が地域の中で役立つ場面は少なくないと思われます。でもどのように地域に入っていったらいいのでしょうか？通常の音楽療法セッションの考え方とはどう違うのでしょうか？

本講座では、講師が地域の中に拠点を立ち上げ展開してきた経験から学んだことをシェアし、ディスカッションやワークを含めて、地域の中で音楽療法士ができること、音楽療法士だからできること、について皆さんと共に考えていきたいと思えます。

【プロフィール】

小柳玲子

日本音楽療法学会認定音楽療法士。昭和音楽大学音楽芸術運営学科音楽療法コース講師。

これまでに、都立発達支援センター、放課後等デイサービスなどで児童を対象とした音楽療法を実践。現在は(医)哺育会横浜相原病院、横浜市総合保健医療センター等で主に精神科領域の音楽療法に関わる一方、地域福祉や公衆衛生に関連したコミュニティでの音楽療法にも関心を持ち、実践のための拠点「音楽スペースおとむすび」を立ち上げ代表を務める。

横浜国立大学大学院教育学研究科障害児教育専攻卒業。教育学修士。

大会 5月26日(日)

大会テーマ『音楽療法における関わりを再考する ～あなたとわたしの観点から～』

◎基調講演

『強みを知り・強みを活かす！クライアントとの新たなかかわりを 探求する ～ストレングスモデルに着目して～』

小沼 聖治先生（聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科 准教授）

クライアントを適切に理解するためには、まず専門職自身の価値観を理解し、クライアントの捉え方を認識することが必要である。また、専門職の中でも、特に対人援助職は、自身のかかわりを武器として、目の前のクライアントと向き合っていく。したがって、専門職である自身と支援を必要とされている方々が持つ強み・能力を発見し、これらの相互作用を効果的に発揮することで、支援の新たな可能性が切り開かれるのではないか。

このような、いわゆるストレングスモデルの視点を通じて、今一度、音楽療法士と支援を必要とする方々が「未来に希望を感じ、その人らしさを認め合い、豊かにつながれる」ようなかかわりのあり方を再考する機会としたい。

【プロフィール】

小沼聖治

文教大学卒業後、精神保健福祉士として、社会福祉法人ひだまり会ディライトホーム（茨城県）で9年間勤務。主に地域活動支援センターや相談支援事業に携わる。その後、2011年に日本福祉大学へ着任、2017年から聖学院大学に赴任し現在に至る。ソーシャルワーカー養成教育に尽力しながら、ソーシャルアクションの方法論に関する研究に取り組み、2022年度に博士号（人間学）を修得。公社）日本精神保健福祉士協会研修企画運営委員会助言者を務める。

また、2021年度より当事者・精神科医・作業療法士・精神保健福祉士とともに、任意団体 TOMY'S ACTION CLUB（トミーズアクションクラブ・HPのURL↓）を設立し、メンタルヘルスを身近に感じられる文化の醸成を目指して、世界メンタルヘルスデー映画上映会プロジェクトを展開中。将来の夢はねこライフをエンジョイすること。

【トミーズアクションクラブのホームページ】

<https://t.co/xgP2R3a04M>

◎教育講演 <共同講演>

『ACP×音楽療法』

西川 満則先生（社会福祉法人愛光園老人保健施設相生 施設長）

大城 京子先生（居宅介護支援事業所快護相談所和び咲び 副所長・主任介護支援専門員）

専門職にとって、ACPの第一歩は、生活の中に散りばめられている思いの欠片（ピース）をキャッチし、多職種で持ち寄り、その人が何を大切にしているかを知ることです。延命治療をするしない、その選択だけではないのです。

私たちは、音楽療法の素人で、ACP×音楽療法のエビデンスは世界的にみても少ないです。私たちの講演が、どのようにACP×音楽療法を化学反応させることができるのか未知数です。音楽により心の奥底のピースが溢れ出す。事前指示書の代わりに、ピースを物語にして奏でる。諸外国では、人生の最期に判断力がなくなる前に、好みの曲をあらかじめ表明できるAdvance Music Planningが、ACPの中に組み込まれることもあるようです。

講演では、音楽療法のド素人として、ACPについて基本のきをお話します。ACP×音楽療法、皆さんの頭と心に、どんな化学反応が起こったか教えて下さい。

【プロフィール】

西川満則（社会福祉法人愛光園老人保健施設相生施設長）

1995年島根医科大学卒、愛知国際病院ホスピス、名古屋大学呼吸器内科を経て、2000年国立長寿医療研究センター着任。エンド・オブ・ライフ[EOL]ケアチーム医師、地域医療連携室長、緩和ケア診療部医長を経て、2023年4月より現職。さらに、EOLケアチーム医師、特養さわやかなの郷配置医、いきいき在宅クリニック医師も務め地域で活動中。

主たる地域活動は、大城氏とのACP普及啓発講演、ACPiece研修会等。

主な大城氏との著書は、「ACP入門 人生会議の始め方ガイド」（日経BP）、「ACPと切っても切れないお金の話」（日経BP）、「生活の場で行うアドバンス・ケア・プランニング：介護現場の事例で学ぶ意思決定支援」（南山堂）

大城京子

2000年愛知県総合看護専門学校卒業後 老人保健施設勤務、デイサービス管理者を経て、2013年より、居宅介護支援事業所の管理者を務める。2019年より現職。

・ACPファシリテーター ・ELC協会認定ファシリテーター ・iACPもしバナマイスター

活動 西川満則医師と共に、医療現場だけではなく、生活現場でのACPを大切に、市民・介護職に向けた講演活動や、オンラインで二か月に一度ACPiece研修会を開催している。

著書として「ACP 切っても切れないお金の話」（共著 日経BP）、「ACP入門 人生会議の始め方ガイド」（共著、日経BP）、「生活の場で行うアドバンス・ケア・プランニング：介護現場の事例で学ぶ意思決定支援」（共著、南山堂）共に西川氏と共著

注：ACP（アドバンス・ケア・プランニングの略称）

演題発表募集のご案内

今回の大会では、研究発表を会員の皆さまの学びの場としていただくために、査読で採択された方と共に、採択にはあと少しという方も抄録の添削指導を受けながらレベルを上げ発表に向けて準備を進めていただくという形を取ることにしました。

抄録の書き方やまとめ方の要点についてコメントをもらうことで、より深く学べる機会となり、今後の実践に役立つ知識の習得にも繋がると思います。

日常の実践を客観的に振り返ることができる良い機会になると思いますので、皆さまからのご応募をお待ちしております。

1. 応募資格について

研究発表申し込み時点で、日本音楽療法学会の会員であること。

2. 演題申し込み方法について

- ・日本音楽療法学会中国支部ホームページ (<http://jmta-cc.org>) へアクセスし、「研究発表申込フォームへ必要事項を記載の上、送信してください。

記載いただいた個人情報、研究発表受付業務にのみ使用します。

- ・演題原稿は、大会準備室へメール送信してください。

メールアドレス：cyuugokusibutai2024@gmail.com

3. 演題原稿の体裁について

- ・図面も含めて A4 サイズ 1 枚 (48 字×40 行) におさめてください。

文字サイズ：本文は 10 ポイントの明朝体、タイトルは 12 ポイントのゴシック太字

- ・日本音楽療法学会中国支部ホームページ (<http://jmta-cc.org>) へアクセスし、「研究発表演題原稿様式」をダウンロードしてご使用ください。

- ・事例研究の場合は「対象者および目標」「方法」「経過および結果」「考察」を、その他の場合「研究の目的」「方法」「結果」「考察」「結語」を簡潔に記載してください。

4. 発表方法について

- ・事例研究または学術研究の発表で、口演発表のみとなります。

発表は 20 分 (発表 15 分、質疑 5 分) で、発表の際使用できる機材は HDMI が接続可能な PC です。マイクロソフト パワーポイント等のプレゼンテーションソフトを使用してください。

- ・研究発表の内容や応募数によっては、ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

- ・採択の可否につきましては、4 月中旬を予定しております。

5. 演題申し込みの注意点

- ・発表は、本学会および他所においても未発表のものに限ります。
- ・対象者のプライバシーを侵さないように、十分配慮してください。

6. 演題募集期間

2024年2月15日（木）～3月31日（日）

7. 承諾書・同意書について

- ・演題発表にあたり、対象者（または保護者）、施設長（または病院長など施設責任者）に事例発表の内容および目的・方法などについて説明し、発表について同意を得てください。
- ・承諾書・同意書は厳重に保管し、必要な時にはいつでも提出できるようにしてください。
- ・承諾書・同意書の書式例は、日本音楽療法学会中国支部ホームページ (<http://jmta-cc.org>) でダウンロードできます。

参加申し込み方法

1. 参加資格について

参加申し込み時点で、日本音楽療法学会の会員であること。

※26日（日）支部大会の基調講演と教育講演は、一般の方も参加可能。

2. 参加申し込み方法について

日本音楽療法学会中国支部ホームページ <http://jmta-cc.org> へアクセスし、「申し込みフォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。記載いただいた個人情報は、大会受付業務にのみ使用します。

※要旨集などのPDFデータが受信できるメールアドレスでお申し込みください。

3. 参加費について

会員の方：無料

一般の方：1000円（基調講演、教育講演のみの参加に限る）

当日受付にてお支払いください。

4. 茶話会について

25日（土）16:45～17:35

普段なかなか会う機会のない会員同士で情報交換などをしながら交流を深めることを目的としております。講習会終了後そのまま残っていただき、実践の中で困っていることや面白いエピソード等、小グループに分かれて気軽に話せる空間を作りたいと思っております。限られた時間ではありますが、お気軽にご参加ください。

5. 参加申し込み期間

2024年2月15日（木）～2024年5月10日（金）

※本大会・講習会では、当日の参加申し込みは受け付けません。

必ず締め切り期日までに事前申し込みをお願いします。

6. 宿泊について

宿泊の手配は各自で行ってください。宿泊についてのお問い合わせは大会準備室ではお受けすることができませんのでご了承ください。

7. 昼食について

お弁当の事前申し込みはありません。昼食を持ち込まれる場合、全館（会議室内・ロビー含む）において飲食が可能ですが、ごみは各自お持ち帰りください。徒歩圏内にコンビニエンスストア1軒がございますが、なるべく昼食をご用意の上ご参加ください。

8. アクセス・交通案内

～駐車場について～

- ・ 大学敷地内に有料駐車場あり

最初の 30 分無料。その後 30 分ごとに 300 円（駐車料金に上限はありません。ご注意ください。）

- ・ 近くにコインパーキングが数か所ありますが混雑する場合がございます。

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関のご利用をお勧めします。

【バスでお越しの方】

■ 広島駅南口（B ホーム 10 番のりば）

路線バス（広電バス、広島バス、広交バス）

「まちのわループ右回り」線

（302・312・322・332・342 号線）

「大学病院前」下車 約 15 分

■ 広島バスセンター

↓ 徒歩 5 分

紙屋町県庁前バス停

路線バス（広島バス 23・23-1 号線）

大学病院行き

「大学病院前」（終点）下車 約 20 分

【タクシーでお越しの方】

■ 広島駅から約 15 分

■ バスセンターから約 13 分

【お車でお越しの方】

■ 山陽自動車道

広島 IC から、広島東 IC から 約 10 km

お申し込み・お問い合わせ先

E-mail: cyuugokusibutaikai2024@gmail.com

第 22 回大会準備室(担当：登島)

広島大学 霞キャンパス 広域地図



広仁会館 地図

